



# 西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会



巨勢山之  
列列椿  
都良都良尔  
見乍思奈  
許湍乃春野乎

2018

# 会長あいさつ

西麗会会長 村上明夫(昭和36年卒)



全国の西麗会会員の皆さん、お元気ですか。

昨年は嬉しいニュースがありました。男子サッカー部が全国高校サッカー選手権埼玉予選で44年ぶりの全国大会出場を駆け決勝に進出しました。また、見沼田んぼなど西高に因んだ書籍を揃えた「西麗会文庫」が発足しました。

学校では埼玉県教育局が創設した「埼玉県教育環境整備基金」を活用し「浦和西高等学校 UN強化プロジェクトプラン」運動に取り組みことを決めました。西麗会にも高野能弘校長が理事会で説明し支援の要請がありました。

このプロジェクトは第1、2グラウンドに2基を建柱し16個のLED投光器を設置しようとするもので、610万5千円を寄付の目標にしています。投光器の光は西高の防災拠点としての価値を高めると同時に、季節、日没等にかかわらず部活動、トレーニングが可能となります。

「埼玉県教育環境整備基金」は、「浦和西高校」を指定しての寄付が可能なものです。基金の制度上、西麗会、PTA等の団体は寄付が出来ないことから、学校では卒業生、企業や近隣住民等の個人を対象に寄付を呼びかけています。

西麗会では全力を上げて協力することにしました。集まった貴重なご寄付は、投光器の光となって練習に励む西高生をやさしく照らすことでしょうか。

会員の皆さんには西麗会への寄付と重なり恐縮ですが、母校の特色ある学校づくりに協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 表紙のことば

こせやまの つらつらつばき っらっらに  
巨勢山之 列列椿 都良都良尔

みつつしのばな こせのはるのを  
見乍思奈 許湍乃春野乎

坂門 人足 (巻一の五四)

「巨勢山のつらつら椿を、

つらつらと見ながら偲ぼうよ、巨勢野の春を」

万葉集に詠われるツバキは、野生種のヤブツバキのこと。

巨勢山は、近鉄吉野口駅付近の標高295mの小さな山で、藤原京から紀伊へ行くときにはこの古道 巨勢路を必ず通ったという。

歌の「つらつら椿」は、葉と葉の間に重なるように多くの花が並んで咲いている様子で、その重なりを「つらつら」と重ねることで、歌にリズムを感じさせる。

写真は、大宮第二公園「万葉の並木道」で撮影。ちょうど梅まつりと陶器市の開催中。梅園は大ぜいの人出でにぎわっていたが、大木のヤブツバキの周りはひと気なく静まりかえる中に、たくさんのお花が重なるように「つらつら」と咲き連なっていた。

(参考) 犬養孝・山内英正著「犬養孝揮毫の万葉歌碑探訪」(和泉書院)、  
「万葉の庭―散策の棗」(西麗会)



## 私と西高

## 合唱に魅せられて

岸 信介(昭和35年卒)



私はバレーボール部に入部し汗を流すのが西高での第一歩でした。

西高を卒業して50年以上経ちましたが、高校時代のことは昨日のここのように懐かしく甦って参ります。数年前、西麗会総会での講演依頼を頂戴し、数十年ぶりに校門をくぐり「合唱と私」としてお話しさせて頂く機会がありました。改めて来し方を振り返ると、西高に入学したことが正に私の人生を決定したと言えます。

私が入学した昭和32年、それまでの別所沼の旧校舎から現在の場所に新校舎が建てられ、私たちは新しい建物の匂いの中で高校生活が始まりました。とは言え当時は周囲が見沼田んぼで、校庭は土埃が舞っていた記憶です。サッカー部が全国レベルの強豪校として話題でしたが、

私はバレーボール部に入部し汗を流すのが西高での第一歩でした。

合唱との出会いは選択授業で音楽を選び、当時の渋谷貞三先生から西高合唱部に「スカウト」されたことに始まります。当時県内で男声は川越、女声は浦和一女、というのがコンクール1位の常連校でした。男女別学の多い県立高の中で、我が校は共学ではありますが男声が少なく「スカウト」に応じたのでした。もともと音楽好きの母の影響もあって歌うことも好きで小学校ではNHKで独唱したこともありましたが、合唱部に入ってから合唱の魅力にすっかり虜になり進路を音楽大学と決めました。山田耕筰の愛弟子であり浦和在任の金子一雄先生に声楽を、奥様のつね子先生にピアノをご教授頂き受験に備えつつ、合唱部で部長も引き受けていましたが、コンクールでは万年3位の涙でした。

「白き雲ゆく」という曲がコンクールの課題曲になった年、伊豆の戸田で合唱部の夏合宿をしたことがありました。どこまでも青い空と海、真っ白な雲、灯台まで行き、歌詞と同じ景色の中でその曲を歌ったことは忘れられない鮮烈な思い出

です。合唱部は部員同士が仲が良く普段でも昼休みも集まって歌ったり、夕方練習で遅くなった時には上級生が下級生を駅まで送ったりし楽しい3年間でした。丁度世の中は慶応ワグネル出身のダークダックスがデビューし、男声カルテットのブームになっていました。1学年先輩の兄上がアメリカ大使館に勤務されていて、まだ日本では手に入らなかったブラザース・フォアの「七つの水仙」などの楽譜が入手でき、ワクワクしながら友人と組んで男声合唱をしたことも忘れられません。

「自主自立」という西高精神は今も私自身の中心に根を張って、時には自分を戒め励ましてくれる言葉ですが、この言葉通り同級生同窓生にも個性的な魅力ある人が沢山いました。画家、舞踊家、文学座から俳優、宝塚にいった女性もいました。当時先生方も若く闊達で学校全体がリベラルな雰囲気、そんな中で様々な人から刺激を受け、受験前の高3で九段会馆で開催された「毎日音楽コンクール」に挑み声楽部門で入賞したことも音楽への道を明確に致しました。

音大に進学してからも西高OBを核に楽器専攻の学生も交え、毎夏山形に演奏旅行に行きました。村から村へトラックに乗せてもらい民家に宿泊、小学生が野の花を輪ゴムでくくった花束を贈ってくれました。数十年後に同じ所に演奏に参りました折、当時小学生だった方が写真を持って会いに来て下さり再会したのは感動致しました。

音大卒業後の数年、私は西高で音楽の講師もさせて頂きましたが、合唱への夢

は絶ち難くプロ合唱の試験を受けました。その時代、プロ合唱団はレコード録音、オペラ、第九演奏会、新曲初演、ラジオテレビ、CM録音：様々な需要があり、正にプロ合唱の全盛期で幾つかのプロ合唱団の中から私は「クリスタルのようなハーモニー」と「緻密な音楽作り」で定評のあった日本合唱協会に所属し、山田一雄先生はじめ多くの厳しい先生の下で鍛えられたことは幸運でした。イタリィオペラの来日公演ではマリオ・デル・モナコと共演できたことも大きな財産となりました。

その後30歳半ばで指揮者として独立し個々の合唱団の活動に加え、指導する合唱団が一堂に会し1983年「舩の会」第1回演奏会を開催し昨年第12回を数えました。合唱文化の一助となれば、という理念で第3回以降は新作の委嘱初演を柱にしております。また、全日本合唱連盟理事長の重責を拝命している現在、合唱音楽の発展と、世界の平和に寄与できることを願い責務に対峙しております。

西高の「自主自立」の精神は、心身ともに健康なことの大切さと、社会に貢献する精神をも同時に伴うことを教えられていたと、今も感謝しています。西高の同胞、後輩の皆さんのご活躍を祈り、私も頑張りたいと思う今日この頃です。

## プロフィール

合唱指揮者 国立音楽大学声楽科卒業。  
「舩の会」を主宰し数々の合唱作品を委嘱初演。海外演奏も十数か国に及ぶ。  
現在、全日本合唱連盟理事長、東京都合唱連盟顧問

# あの年の友



題字・カット  
山本鐘互  
(昭和40年卒)

石川(金子)佐和子(昭和20年卒) 久喜市

西麗会報を楽しく拝読いたしました。同級生の訃報を知りましてますます年月の流れの早さが身にしみえます。貴会のご発展を祈念申し上げます。

守屋(安川)郁子(昭和26年卒) さいたま市

書道に打ちこんで50年「春玲」は私です。西高時代が懐かしく思い出に浸りながら作品を発表しています。ご無沙汰ばかりで、ごめんなさい。皆様の御健勝を切に!

加藤(天部)正納(昭和30年卒) 上尾市

私りそな銀行サポートアドバイザー。業務改革提案に対し、平成26年4月に続き、平成29年4月にも感謝状を拝受。

三宅晴代(昭和31年卒) 川口市

歩行困難で介護施設にいますので欠席いたします。皆様によりしくご伝言ください。

荒井利尚(昭和31年卒) さいたま市

来年は平成も終わるといふ。国際政治の世界が予測不能の様相の中で、傘寿の大地を迎え、社会との絆を大切に、前進したいと思っています。

寺尾(田中)宏子(昭和32年卒) 四街道市

この企画のお世話を心より感謝申し上げます。来年には80才になります。：：：老体にむち打って主人の面倒をみつ、朝のラジオ体操、地域活動の中のウォーキング、書道のこと、楽しみながら参加し

長谷川(藤井)愿子(昭和32年卒) 国立市

お祈り申し上げます。皆さまの平穩無事を心より祈っています。毎年全国大会で出かけているの末は絵手紙全国大会で出かけています。今回は秋田へ行きます。実家が木崎バス停前なので校庭は見えています。

柿沼保吉(昭和33年卒) さいたま市

筋力の衰え、甚だしい今日この頃です。在学中は学校の別所から木崎に移転、サッカーの全国優勝等、楽しく思い出す今日です。いつも会報ありがとうございます。

中枝(館野)和子(昭和34年卒) 新潟市

昨年のお正月は南極で迎えました。日本から三日間かけての南極行。南米の最南端プンタ・アレナスから出発。日本人はたったの8名。南極の自然に魅了されました。

堀野忠夫(昭和34年卒) さいたま市

相変わらず母校の学校薬剤師を務めさせていたでいております。少しでも母校の環境衛生に役に立つ事が出来ればと思います。健康で元気で長生きは価値があります。

佐藤(河合)喜和子(昭和35年卒) 千葉市

後期高齢者75歳・薬局は3月31日で定年退職となりました。漢方の薬局週一回学び、仕事をして、元気にしております。

漢方と食養生高齢者社会は大切かと存じます。

八木 正(昭和35年卒) 大町市

増えてきた板材を使い切ろうと木製品を作っていますが、アイデア先行で、手先、体が追いつかなくなりました。懐かしい便りに元気を貰い楽しんで参ります。

林野 宏(昭和36年卒) 文京区

今日もやりたいことが山積していて、時のたつのも忘れて、短い一日が消えていく。一体何時迄このようなことが続くのだろうか。自分でも不思議に思う今日この頃

島宗俊郎(昭和36年卒) 名古屋市

後期高齢者の仲間入りますが、昨年3月に大学院修士課程を卒業しました。4月から博士課程に入学、人生最後の勉強が始まりました。

高橋千剣破(昭和36年卒) さいたま市

日本ペンクラブの常務理事を務めています。同会は、言論表現の自由を守るためと、反戦、反核、反原発のため、いろいろ文学者としての活動をしています。

安田(宮崎)美代子(昭和36年卒) さいたま市

村上さんのお顔を久しぶりに拝見しました。西高を懐かしく思い出しました。西高のために頑張ってくださいね。

一戸(工藤)静子(昭和37年卒) さいたま市

運動が苦手な私が3年間無事にバスケット部で過ごせた皆さんのおかげでした。本当にありがとうございます。桜並木の美しい三室に息子と犬のノンと住んでいます。

須賀 清(昭和37年卒) さいたま市

久々に西高祭へ。自治の空気。今は古木の傾斜林の姿。その管理のご苦労を先生から伺う。変わらぬ弓道場。試射の機会を得て一人昔に帰って来ました。

## 会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

榊原登美枝(昭和13年卒) 川口市

平成28年1月14日に亡くなりました。姪より

宮(山崎)久子(昭和14年卒) 横浜市

平成28年12月1日死去致しました。

松本(関谷)登美(昭和15年卒) さいたま市

平成29年10月に母松本登美が永眠しました。西麗会理事会に出席できなくなつてからも、毎回送っていたいただいた案内を見ては皆様のことを思い出していただようです。母が生前に賜りましたご厚情に深謝いたします。会長をはじめ、理事の皆様にもよろしくお伝えください。長い間、西麗会理事としてお世話になりました。

西川(滝本)幸子(昭和15年卒) 川越市

祖母、西川幸子は平成10年に逝去しました。生前のご厚情誠にありがとうございました。孫 西川幸佑 ございました。

関根(新藤)つね子(昭和17年卒) さいたま市

平成26年9月に88才で永眠しました。大変お世話になりました。皆様のご健勝をお祈りいたします。関根聡史

大熊(岡野)綾子(昭和21年卒) さいたま市

母は2017年2月27日に亡くなりました。

田島(内海)智子(昭和21年卒) 北本市

母、田島智子(旧姓内海)は、平成27年3月に他界いたしました。

清野(浦野)幸子(昭和21年卒) さいたま市

母、清野幸子は昨年5月1日に他界致しました。長年の御親交有難うございました。皆様宜しくお伝え下さい。

榊原道子(昭和22年卒) 川口市

長男 清野正人

平成29年2月4日に亡くなりました。姪より

安達時彦(昭和39年卒) 川越市

日々是好日。平成29年5月14日〜28日、川越のギャラリーユニコンで個展を開催しました。

後藤鏡四郎(昭和39年卒) 蓮田市

いつも会報ありがとうございます。元気でやっています。次の同窓会は、いつですか。楽しみにしています。

佐野和義(昭和39年卒) さいたま市

昨年は一番上の孫娘が成人式。西高を卒業した男の子は進学せずロックバンドで音楽の道へ。どうなることやら残りは高二の男と女が一人ずつと中一の男が一人大変です。

中塚(横山)俊子(昭和40年卒) 町田市

下手な短歌が載せられ、恥入っています。病み上がりながら、長男のそばに引越し、憧れの一人暮らしを始めました。「桜摘み散らして遊ぶ、インコに会い」日記を読み返したり。集中できることが何よりの嬉びとしています。

鶴澤利雄(昭和41年卒) 習志野市

今年で古希を迎えます。西高卒業後半世紀が経ちました。まだまだ現役で会社のトップにいます。ようやく後任も決まり、社長の座を譲ります。これからが楽しみです。

宇根 等(昭和41年卒) 目黒区

目黒に越して2年になります。3年前から肺の生検、胃がんの内視鏡手術、今年白内障の手術と毎年手術を受けておりますが、日々は元気に過ごしております。

平田春夫(昭和41年卒) 名古屋

未だ、平日は家庭菜園(10年近くなり大分良く実るようになりました)、週末はヨットにと、元気にやっています。

増子啓三(昭和41年卒) 青梅市

年金者組合の仕事のついでに、一昨年は

倉敷の大原美術館、昨年は高松の栗林公園、屋島を訪ねてきました。1965年の修学旅行以来の再訪でした。感無量でした!

水澤(松木)由美子(昭和41年卒) さいたま市  
体調を悪くして、実家におります。遠出ができません。家に居る事が多いです。

綾部登久(昭和42年卒) 川口市

川口市内の中学・高校に教員として38年間勤務し定年退職後、再任用職員、非常勤講師を7年間勤めました。現在、趣味の折り紙と剣道に励んでいます。

今井登志樹(昭和42年卒) さいたま市

2018年秋頃に、1967卒業生の合同同窓会を企画しています。先日でもクラス世話人25名が参加して会議を行いました。追って告知します。お楽しみに!

福原(篠原)佐保子(昭和42年卒) 渋谷区

春になると、校舎裏の田んぼでレンゲの花をつんだことを、なつかしく思い出します。

尾形和雄(昭和43年卒) 福岡市

退職後も福岡市に住み続け、10年になります。公民館での麻雀教室のボランティア、プールで水中歩行、海釣りを楽しんでいます。梁瀬先輩、病に負けず、元気で。

根本明德(昭和43年卒) 水戸市

一億総活躍社会なんて言われ、年金はあてにせず、自分でかせげということか。相変わらず国際交流のため、現役同様フルタイムで勤務しています。老骨に鞭打つて。

松田 博(昭和43年卒) さいたま市

長年の企業勤めを終え、7年前に定年退職後、地域の防犯パトロールに参加し、微力ながら防犯・防災担当の役員として地元地域に還元させて頂いております。

和田(大日方)和子(昭和45年卒) さいたま市

浦和西出身の教員が多く驚いております。最近の子供を育てることは大変ですが、西高出身に誇りを持って欲しいです。最近西高の評判が上がって嬉しいです。

大類(木村)由美子(昭和45年卒) つくば市

つくばでジャムとスコーンの店を始めて7年経過。新聞や雑誌に掲載され忙しくなってきました。店の前の宝篋山も人気です。近くへお越しの際はお立ち寄り下さい。

福富周二(昭和46年卒) さいたま市

33年ぶりに西高に赴任しました。服装はカラフルになり、三年生は放課後遅くまで自習していました。卒業式第二部では、卒業生全員参加で見応えがありました。

宮本(八木)知恵子(昭和46年卒) 宮代町

小さい頃からのあこがれだった小学校教員の仕事も無事退職。今は初任者の後補充をやっています。なつかしい高校三年間楽しかった思い出がいっぱい。母校に幸あれ。

浅見(深見)多香(昭和25年卒) 横浜市

一昨年の7月に亡くなりました。長きにわたりありがとうございました。娘より宮山(蓮沼)初枝(昭和26年卒) 中野区

同級生の宮山(旧姓蓮沼)初枝様が去る6月12日に永眠され、私は、14日の通夜に参列、お焼香させて頂きました。その折ご長男に同窓会への御連絡を任せていただきましてのでお知らせ申し上げます。詳しい事はお聞きしておりませんが、一昨年10月にクラス会を行いました事を宮山様が皆様のお写真と文面を会報に投稿してください。次回は米寿の記念クラス会をしましょうと約束しました。こんなに早くお亡くなりになるとは思いませんでした。

今年になつて入退院を繰り返された由、本当に残念です。頼りになる友人を失いました。社会的に長い間活躍され勲章を授与されてます。平成29年6月19日 粕川初枝

鈴木喜三郎(昭和28年卒) 東京都北区

父鈴木喜三郎は平成28年4月25日に永眠いたしました。生前は大変お世話になりました。長男 鈴木祥弘

橋口治夫(昭和28年卒) 八王子市

2016年9月、静かに短期入院にて永眠致しました。生前は、お世話になり有難うございました。妻 橋口耀子

大川周行(昭和29年卒) 返子市

大川周行は一昨年5月に80才にて永眠致しました。生前お世話になりました。御礼申し上げますと共に貴校の御発展をお祈り致します。

金杉昭一(昭和29年卒) さいたま市

夫昭一は平成28年6月9日80才で永眠いたしました。これまで大変ありがとうございました。妻より

五十嵐英男(昭和30年卒) さいたま市

27年11月に亡くなりました。生前は大変お世話になりました。ありがとうございます。五十嵐勝代



▲総会講師 丸山光夫 先生

新井義英(昭和47年卒) 上尾市

住居表示が変更になりました。退職後、心身をメンテナンズしております。

岩城真幸(昭和47年卒) 北広島市

西麗会の会報が届くたびにやっと春がきたと感じます。北海道に引越して30数年になりますが、いつも春が待ち遠しいです。来年は65才になり、いよいよ高齢者の仲間入りです！

加藤輝男(昭和47年卒) さいたま市

3年前の4月に脑梗塞で入院しましたが今はおかげ様で元気です。

宇田川(山田)成子(昭和47年卒) 北本市

会報に載った白木先生の近況で昔が甦りました。月に一度「うた声とお食事」(PM 6:30~9:00)というイベントの料理作りを担当して7年。地域の方々と大声出して楽しくやっています。

渡部貞一(昭和47年卒) 小金井市

県庁37年、団体3年の合計40年のサラリーマン生活が終わりました。あれから40年、これから〇〇年の生活が始まります。四季の移ろいを身体で感じながら。

松岡(錫培)毅(昭和48年卒) 藤沢市

西高時代のように良く遊び学び恋するそんな生活をセカンドライフの原点にしています。還暦同窓会後に仲間達と行く鎌倉や横浜へのぶらり散歩はその一環です。

鈴木一郎(昭和48年卒) さいたま市

十数年間自治会活動を行って来ました。平成28年11月にHPを開設し、ブログも私書書いています。「根岸自治会」で検索出来ます。副会長に昇格(?)しました。道下(今成)敦子(昭和50年卒) 七尾市

定年の無い自営業、夫婦体の動く限り歩いて行きたいです。長男長女は関西で所帯を持ち、孫にも恵まれました。還暦となり少しゆったりと孫の成長を楽しみたいです。

岩田(森山)由美子(昭和50年卒) 所沢市

リタイア年金生活で和服リフォーム・三味線・ライブ&旅行と好きなことだけして暮らしています。昨年は念願だった木曾路(馬籠〜妻籠)を歩きました。

大崎栄一(昭和50年卒) さいたま市

父娘で西麗会会員です。還暦を迎えて還暦同窓会が開催されました。幹事さん有難うございます。娘は望みを叶えて現在、化粧品会社に就職して頑張っています。

小島健一(昭和50年卒) 大阪市

先日叔母の告別式で、秩父武甲山麓まで参って来ました。男性の弔問客は全員天冠を被り厳かな中にも一寸笑える葬儀でした。葬儀・介護・病氣・入院が益々身近になってきましたね!!

竹内 斎(昭和50年卒) 東久留米市

還暦同窓会は感動的でした。昨日の行動は忘れるこの歳、西高への心のトラベル、「雀荘補導事件」、「朝礼台へ激突事故」、「麗しき見つめる目」は昨日の様に思い出されました。

高橋(中田)康子(昭和50年卒) 桶川市

今年(29年)5月に西高時代の親友三人で還暦記念イタリア旅行に出かけます。生涯の友に出会えた西高時代に感謝です。

高野(長谷川)久子(昭和50年卒) 川越市

還暦記念同窓会に出席しました。会場に入った瞬間タイムスリップ。自由な校風と理解ある先生方。本当に恵まれた高校生活だったと改めて感じました。

石川(大熊)理恵(昭和51年卒) 板橋区

11月の同窓会では、先生お二人と沢山の旧友に会えて、夢のような時間でした。次回また、元気で再会できますように。

榎田(赤羽根)敬子(昭和51年卒) 神戸市

還暦の少年少女冬銀河 神戸在住以来、30年間お世話になった楽

器店が昨年廃業しました。この業界も厳しい！生徒さん募集のチラシを作り、頑張ります。新たな出会いがありますように。川口文和(昭和51年卒) 横浜市

29年の10月で60歳になります。高校時代には、遠い遠い未来のイメージでしたが、振り返るとアツという間でした。働ける限り今後もバリバリやっつけていく積りです。小日向一(昭和51年卒) 飯能市

和歌山県有田市に単身赴任3年目に突入しました。一昨年、熊野古道の大阪の山中溪く熊野本宮大社を往復完歩しました。(週末利用) 野崎美夫(昭和52年卒) 江東区

同志社大学に進学された鬼柳和美さん(旧姓榎原)のご連絡先をご存じの方がおられたらお教えいただけたいでしょうか。nozaki@nyacol.jp

新藤(小磯)葉子(昭和53年卒) 練馬区

西麗会会報いつも懐かしく読ませていただいています。今年、是非、40年ぶりに、西高に伺ってみたいなあと思っています。

関口(山上)裕子(昭和53年卒) 熱海市

いつも会報をお送り頂きありがとうございます。定年後を考える歳となり、熱海に転居しました。今後よろしくお願ひします。

小田郁子(昭和53年卒) さいたま市

平成29年は、浦和西高サッカー部が30年振りに全国総体出場、惜しくも全国高校選手権は県予選決勝で敗れたものの、市原先生の下、若い後輩達の活躍に感動しました。

田中(船木)順子(昭和55年卒) 港区

24年ぶりに関東へ復帰しました。友達にも会いやすくなって楽しみです。

青木(岩崎)悦子(昭和30年卒) 練馬区

平成29年3月14日、享年八十で逝去いたしました。生前は大変お世話になりました。

岡本 寛(昭和30年卒) 江戸川区

2016年末に亡くなりました。親族より松崎(小島)喜美子(昭和30年卒) 鎌ヶ谷市 母は平成27年7月18日に他界しました。生前の御厚誼に御礼申し上げます。

久保(近藤)哥久子(昭和30年卒) 長男 哲

妹久保哥久子は平成24年4月に死去致しました。 姉 近藤安代

清水英明(昭和30年卒) さいたま市

大変お世話になりました。夫英明は一昨年5月2日に他界致しました。長きに渡り有難うございました。皆々様の御活躍お祈り申し上げます。

田中秀幸(昭和31年卒) さいたま市

平成28年4月4日逝去いたしました。会社へ41年、土合サッカー少年団監督を40年、とても幸せな人生でした。お世話になりました。 妻 洋子

大原 進(昭和33年卒) 行田市

大原進は平成28年8月8日77歳で亡くなりました。大変お世話になりました。 妻 大原知恵子

山賀雅仁(昭和33年卒) さいたま市

平成28年3月に他界致しましたので御連絡申し上げます。生前はお世話になりました。妻 喜美子

西岡剛史(昭和35年卒) さいたま市

平成26年4月22日、72才で永眠致しました。生前のご厚志に感謝申し上げます。北澤(吉田)政子(昭和35年卒) さいたま市 平成26年12月18日、他界いたしました。生前のご厚情に感謝申し上げます。 遺族より

粕谷昭一(昭和37年卒) 蕨市

平成27年7月23日に病気で死亡致しま

田口(矢嶋)里香(昭和55年卒) 豊島区

西高同級生の夫と私は平成29年春、30回目の結婚記念日を迎えました。毎年ゴールデンウィークには、西高時代の仲間たちと会うことにしています。

山下勝矢(昭和55年卒) 三郷市

広報部の皆様、会報の発行をしていただきありがとうございます。私の子供が今年から社会人になりましたので、記念投稿です。

尾崎輝喜(昭和56年卒) 西東京市

昨年の健康診断を機に日々3kmのジョギングを実行し、悪玉コレステロールを克服。同じ悩みをお持ちの皆様、お試しあれ。

内田善久(昭和58年卒) さいたま市

台湾で、台北マラソンを走って来ました。

杉本雄一(昭和61年卒) さいたま市

管弦楽部OBオーケストラ、NIONフィラ定期演奏会平成30年7月28日さいたま芸術劇場音楽ホールご来場下さい。「NION管弦楽」でweb検索下さい。

中井(新谷)葉子(昭和63年卒) 吹田市

今春から全国のスタジオマリオでフォーマルモデルになる息子、駿も6年生に。中学受験に突入。目指すは関西一の最難関・灘中!! 親子で頑張る一年です。

瀬尾(阿部)展子(平成元年卒) 豊島区

東京消防庁を辞め子育てに専念していましたが、7年前に鍼灸学校に入学。昨年、丸ノ内線茗荷谷駅で「美容鍼灸サロンS AKURA」を開業しました。

西村(押上)明子(平成元年卒) さいたま市

一昨年11月、10歳の娘が癌で亡くなった際に賜りました御心遣いや励まし、有難うございました。悲しみは癒えませんが、6歳の息子の為に何とか頑張っています。

馬場則雄(平成元年卒) さいたま市

息子と部屋の中でキャッチボール。テレ

ビにボン!液晶パネルがバリバリバリ。私の月々のお小遣いが減るそうです。ちなみに息子は大学生。いい大人2人何やっているんでしょ。

小高正憲(平成3年卒) 北本市

教育実習でお世話になって以降学校からは足が遠のいておりますが、そのうちフラツと立ち寄って昔を懐かしんでみたい

阿部悠貴(平成8年卒) 熊本市

埼玉から遙か離れた熊本大学で教鞭を取っています。

海老原朱里(平成12年卒) 川口市

2016年に結婚しました。今は夫と2人で楽しく生活しています。西高時代のことをとても懐かしく思います。

渡邊(大石)綾子(平成12年卒) さいたま市

現在育休中で二人の娘の子育てに奮闘しています。西高での3年間はバスケ中心でしたが、そこで得たものが今の自分の大きな土台になっているように思います。

田中啓介(平成12年卒) 鴻巣市

西麗会報を手にする時、西高生活の思い出がよみがえってきます。今は防衛省で勤務しつつ、出向先の外務省で安全保障関連業務に従事しています。またどこかで!

野口 渡(平成12年卒) さいたま市

髪の本数と体重が反比例し、健康診断では医師から説教を受ける歳になりました。まだまだ30代、頑張ります。

野崎久美子(平成12年卒) 西尾市

いつも楽しみにしています。去年の春に愛知に来て、ゼロから歯科助手をします。

橋本正法(平成12年卒) 八潮市

浦和西高校卒の皆様、現役の皆様。お元気ですか?私は社会人になってから15年目を迎えておりますが、あの時の記憶が今現在の原動力となっております。

林 祐介(平成12年卒) 横浜市

職場の異動により横浜市へ引越しました。妻と息子と3人暮らしです。

村上(狩野)奈々子(平成15年卒) 宇都宮市

いつもありがとうございます。29年9月に新しい家族が増える予定です。残念ながら今回も不参加となりますが、皆様のご健康と西麗会の益々の発展を願っております。

清水雄太(平成17年卒) さいたま市

引越しました。西高が近くなりました。若林稔弥(平成18年卒) 練馬区

高校の頃から目指していた夢を叶え、現在漫画家として働いています。西高図書館にある偉大な先輩方の著書に、拙著も並べて頂けているでしょうか。

金子(大竹)めぐみ(平成19年卒) 杉戸町

4年前に結婚し、一児をもうけました。2年前に転居し、家族3人賑やかに暮らしています。

中尾海斗(平成28年卒) さいたま市

大学生活、楽しんでいきます。

した。よろしくお願い致します。

佐藤 峨(昭和37年卒) 流山市

夫は2016年12月13日、天国へ召されました。長きに渡り、有りがとうございました。

宗像善臣(昭和38年卒) 横浜市

弟宗像善臣は、平成29年1月31日に他界致しました。生前は、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

兄 宗像善樹

佐藤(見留)和子(昭和41年卒) 白岡市

残念ながら、佐藤和子は平成15年9月3日死亡しました。お世話になりました。夫 佐藤眞一

佐藤高弘(昭和41年卒) 蕨市

平成29年12月に逝去いたしました。

尾花 仁(昭和41年卒) 北本市

平成30年2月12日、治療の甲斐もなく逝去いたしました。

内村正一(昭和42年卒) 川越市

父、正一は平成26年3月30日に他界致しました。同窓生の皆様のご健康とご多幸を天国から祈っていることと思います。生前は父がお世話になり本当にありがとうございました。長男 内村朋央

矢野誠一(昭和48年卒) さいたま市

平成24年9月に逝去いたしました。

青山勝子(昭和51年卒) さいたま市

平成28年1月に永眠いたしました。生前はお世話になりました。ありがとうございました。

渋谷昌洋(昭和58年卒) 神戸市

平成29年10月23日に永眠致しました。生前はお世話になり、ありがとうございます。妻 由紀子

田中克己(昭和61年卒) 上尾市

息子田中克己は、平成28年9月11日にくも膜下出血で急逝いたしました。48才でした。生前はお世話になりました。父 田中定克



▲ 昨年の総会終了後

# 西高周辺てくてく見て歩き

## 赤山街道 第3回

江戸時代の関東郡代・伊奈氏が、今の川口市赤山に築いた赤山陣屋と各地を結ぶために整備した「赤山街道」をてくてく歩くシリーズ第3弾です。

2015年秋、与野駅東口の赤山通り商店街を出発した私たちは、地域に残る道標や庚申塔、富士塚などに寄り道しながら東をめざし、2016年秋に赤山陣屋跡にたどりつきました。

今回は与野駅西口から西へとびる「赤山通り」を歩きました。



### 与野駅西口の変貌

JR与野駅西口は大規模な再開発により、すっかり姿を変えました。駅前にはロータリーが整備され、高層ビルが高さを競っています。

赤山通りは、与野駅東口で中山道に合流します。しばらく、中山道を歩き、新都心大橋を渡って線路の西側へと向かいます。鉄道の開通とともに赤山街道の経路も変更されたと考えられますが、大正13年の古地図を見る限り、当時も新都心大橋のあたりで線路を越えていたようです。

### 高谷橋の石橋供養塔

線路の西側には、かつて日本信号の工場がありました。現在はマンション群になっています。そびえ立つ建物を横目に、与野東中学校と下落合小学



写真1 高谷橋の石橋供養塔

校の間の道を西に進みます。中学校の正門前に流れる鴻沼用水路には高谷橋が2本架かっています。中学校側に渡る橋が、赤山街道の旧道であることが古地図から確認できます。中学校の正門脇には石橋供養塔(写真1)があります。三方を塀に囲まれています。説明板には、1756(宝暦6)年に石橋の完成を記念して建立され、石橋の建立には周辺の多くの村の協力があったと記されています。

### 赤山橋の石橋供養塔

赤山通りは埼京線北与野駅付近で新幹線の高架下をくぐります。ほどなくして鴻沼川を渡る赤山橋に出ます。この橋の西側の袂にも石橋供養塔(写真2)があります。1726(享保11)年に建てられたもので、側面には鈴木大戸、五味貝戸などの村の名が刻まれています。



写真2 石橋供養塔

### 御屋敷山

新大宮バイパスの大きな交差点に出ます。この交差点はその名も「赤山通り」。頭上には首都高速埼玉新都心線の高架が走っています。

交差点を西へ渡り、もう少し行くと伊奈半左衛門の陣屋跡と伝えられる「御屋敷山」に出ます。今ではすっかり住宅地となっていますが、四方が下り坂となっていて「御屋敷山」の名の面影をどめています。

ここからやや北に進み、日枝神社に立ち寄ります。江戸時代中期の創建と伝えられるこの神社には「算額」(写真3)が奉納されています。算額とは江戸時代に独自の発展を遂げた「和算」の問題を解いた人が額にして社寺に奉

納したもので、ここに掲げられているのは1866(慶應2)年に正野友三郎が奉納したものです。二等辺三角形の中の甲円と外円の直径を求めたもので、現在さいたま市の有形文化財となっています。



▲写真3 日枝神社の算額

### 高校の中に古墳が

ここまでは旧与野市域(現さいたま市中央区)を歩いてきました。ここから旧大宮市域(現大宮区)に入ります。鴨川東岸のこの一帯には6世紀から7世紀前半と考えられる古墳が多く見られ、「側ヶ谷戸(そばがいと)古墳群」として埼玉県の重要遺跡に選定されています。

このうち「稲荷塚古墳」(写真4)はなんと大宮西高校の校地内にあります。



▲写真4 大宮西高の中にある稲荷塚

す。校門を入り、どの学校にも見られるような卒業記念樹、記念碑などが並ぶ植栽の中の小路を通り抜けると、突如としてこんもりと小高い古墳が現れます。テニスコートと校舎の間に当たり前のような顔で収まり返っている古墳はあまりにも異質過ぎて、一瞬言葉を失うほどシュールな光景でした。

同じ「西高」ということで親近感のあった「大宮西高」は生徒の募集を停止し、2019年度からは「さいたま市立国際中等教育学校」として中高一貫教育を行う学校にリニューアルすることになっています。

### 家康ゆかりの茶堂

大宮西高校を後にして北に向かい、新大宮バイパスの手前100mのここ

ろに千手観音をまつる観音堂があります。

ここは徳川家康が立ち寄った際に里人が洪茶をふるまい、喜んだ家康が「茶堂(ちゃどう)」と名付けたという言い伝えがあります。

ここで鴨川に架かる橋を渡り、水波田(みずはた)観音、慈眼寺、佐知川の願満堂(がまんどう)、金山神社を経て、一路「永田陣屋」を目指します。

### 土屋の永田陣屋

江戸時代の関東郡代・伊奈忠次が河川改修や新田開発を行うためにこの地に居住、現在も陣屋の周りにめぐらされた堀が残っています。

この陣屋の跡地は伊奈氏の重臣・永田氏が拝領し、隣接する敷地には今も



▲写真5 永田陣屋の長屋門



▲写真6 門には駕籠が……

「永田医院」が開業しています。江戸時代終期に再建された長屋門(写真5)はさいたま市内に現存するもののなかで最大のもので、その天井には駕籠(写真6)が2台つりさげられています。

この門は時代劇の撮影にも使われたとこのことで、「太秦(うずまさ)映画村」さながらのおもむきです。

### おことわり

この記事は2017年秋に西麗会広報部が現地取材して作成したものです。記事中には現地案内版の説明文やさいたま市ホームページの記述を参考にした部分があります。

(広報部 大熊・片岡・小林)

二〇一七年度

# 寄付者のお名前

(敬称略)

毎年、多くの方からご寄付をいただき、ありがとうございます。

西麗会の活動は、卒業生が入会する際の終身会費と、その後の任意のご寄付によって支えられています。

皆様からのご寄付は、現役の西高生の自治的活動を応援するための「西高祭援助金」のほか、入学時の記念品卒業時の卒業証書ケースの贈呈など、後輩たちにも喜んでいただいております。

千円、二千円の尊いご寄付がたくさんの方から寄せられると、現役西高生への応援にもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 昭和29年卒(6回)

青柳逸子 黒澤和子  
守屋郁子 大熊幸子  
国谷桂子 大谷康代  
軽部みゆき 西口和子

## 昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 中野健一  
高橋惠美子 佐藤喜和子  
高橋正臣 三須哲男  
八木正 吉村克昌  
若林邦昭

## 昭和40年卒(17回)

山田菜穂子 村井公子  
根本明德 田中裕子  
守川黎子 小寺秀仁  
佐野和義 矢部公利  
山田康博 荒井良明  
宇治田進 内山一郎  
金子芳雄 後藤鉄四郎  
富永正敏 村井勝美  
佐藤誠造 森茂  
山田信彦

## 昭和43年卒(20回)

松本登美子 五十嵐由美子  
佐藤良雄 斉藤憲一  
田口宣仁 長久保洋二  
石井裕 尾形和雄  
田中勉 松田博  
山岸勉 田沼彰  
日下淑子 三谷真弓  
板野敏子 木村美代子  
永村てるよ 前鶴澄江  
本間葉子 八木純子  
横山千津恵 磯田喜美子  
田村政広 加瀬修  
立花和男 千谷一郎  
片岡素子 山下和子

## 昭和30年卒(7回)

小林茂水 橋本充子  
森井良子 鈴木正明  
山田勝弘

## 昭和36年卒(13回)

岡本宣子 中川明紀子  
安田美代子 輿水敏男  
宮下巖 村上明夫  
小川敬子 高島民枝  
高橋司全 青山明子  
海老原稔 近藤一  
斎須祥子 大森正明  
齋藤庸夫 島宗俊郎  
高橋千剣破 豊島義明  
星野康弘 林野宏

## 昭和40年卒(17回)

高橋次男 鶴岡保  
丹野瑛喜子 沢田正行  
野口哲夫 新藤幸雄  
宮木俊孝 服部光之  
山本鍾互 中塚俊子  
中村邦子 金子揚子  
富田輝子

## 昭和44年卒(21回)

安藤昭 斎藤芳昭  
関口彰子 石井均  
金子正男 丸山紀子  
池亀利恵子 神原啓子  
関千代子 鈴木真澄

## 昭和15年卒(旧3回)

板井喜美 小泉ちよ

## 昭和23年卒(旧11回)

山岸さよ子

## 昭和32年卒(9回)

今井忠 門本ヨリ子  
小林久江 城崎康子  
椎名弘 立川武司  
府川代四男

## 昭和37年卒(14回)

印南協子 長本和子  
藤田静子 福島眞砂代  
松井都 林聡慧  
善林彬人 高橋勝行  
富田鎮雄 細川早代子  
斎藤俊和 須賀清  
野田剛 藤井克己  
吉岡信二

## 昭和41年卒(18回)

鶴澤利雄 西野久美子  
宇根等 江川清  
佐藤裕子 関根耀子  
高橋みつ子 池澤堯彦  
中西芳彦 増子啓三  
松村光雄 大熊幸雄  
平田春夫

## 昭和45年卒(22回)

佐藤淳子 吉田和枝  
斉藤俊一 島崎富夫  
大類由美子 堀田美枝子  
和田和子 綿貫保子  
島茂美 島泰子  
田中京子 永井隆史  
林一雄 阿部博之  
新井康俊 上野邦雄  
金子弘 塚原重和  
堀辰夫 吉田伸  
井原誠吉 匿名

## 昭和18年卒(旧6回)

佐々木しげ 松村喜美  
脇屋容子

## 昭和25年卒(2回)

大澤志女乃 河岡克子  
鈴木和子 宮田仁子

## 昭和33年卒(10回)

豊島泰之 古畑喜美子  
柿沼保吉 七澤敏子  
竹ノ谷光美 町田利之  
稲生陽子

## 昭和38年卒(15回)

入澤洋子 大沢松子  
関延子 斉藤進  
窪川和順 河原塚正子  
雲田典子 中河原喬一  
木戸晃 橋本保彦

## 昭和42年卒(19回)

綾部登久 稲垣昇  
伊藤きみ子 丸山宮子  
阿部輝雄 今井登志樹  
甲斐佳晶 上倉功  
斉藤勉 杉村長世  
井上千津子 榎本信子  
河合のり子 佐竹恵津子  
福原佐保子 松本知歌子

## 昭和19年卒(旧7回)

井上昭子 井出みつ子  
小熊則子 清水和子

## 昭和26年卒(3回)

小川君子 岡田幸子  
粕川初枝 高際ひさ子

## 昭和34年卒(11回)

小川紀夫 間茂紀  
新田和子 宮崎伊都子  
高橋幸雄 堀野忠夫  
中枝和子 三林芳子  
川畑啓子 粕谷徳元  
庵浩子 井川征郎  
吉田維夫 匿名

## 昭和39年卒(16回)

鈴木由美子 那須雅江

## 昭和20年卒(旧8回)

石川佐和子 杉山幸子

## 昭和27年卒(4回)

鶴澤美夜 梅田亮子

## 昭和21年卒(旧9回)

大熊綾子

## 昭和28年卒(5回)

正木敏雄 長島千和

昭和46年卒(23回)

澤井敏夫 田中敏雄  
福富周二 有賀浩治  
谷田恵司 宮本知恵子  
船津徳英 武藤智江  
今成博茂 松本和夫

昭和47年卒(24回)

福井一夫 堀富雄  
渡部貞一 宇田川成子  
岩城真幸 石川弘美  
塩見幸子 野口万里子  
今岡章夫 海老瀬洋子  
栗原政江 多喜田瑞栄  
細田陽子 白石哲郎  
兼良子 加藤輝男  
白井晴美 福田定男  
間山和幸 高橋理恵子  
柳沢啓二 津田和子

昭和48年卒(25回)

安藤裕子 高橋厚夫  
海老沢さち子 高橋律子  
野口佳代子 荒川薫雄  
川上行生 鈴木一郎  
鈴木芳夫 松岡毅  
鈴木朗雄 原田清貴  
吉倉康晴 吉田翁

昭和49年卒(26回)

高橋正 武井隆一  
加藤えみ子 島内則子  
藤波茂雄

昭和50年卒(27回)

道下敦子 栗原宏夫  
富樫正紀 竹内斎  
江口克己 田中政信

昭和51年卒(28回)

高橋康子 青山篤  
夏堀操 大崎栄一  
後上真一 齊藤登  
豊田勉

昭和52年卒(29回)

藍原周一 沼口正英  
池田啓一 黒須仁  
嶋原勝久 船橋由美  
伊藤京子 大迫義谷  
酢崎利夫 石川理恵

昭和53年卒(30回)

新藤葉子 荒井正明  
河野正 後藤美子  
小田郁子 渡部智博  
赤羽明宏 阿野清治  
和田哲也 関口裕子  
西山幸代

昭和54年卒(31回)

中村裕一 田中こずえ  
富田由賀子 田村義明  
小林功 渋谷規行  
郷由美子 泉名泰之  
桐永香百里

昭和55年卒(32回)

松本和幸 信沢雅志  
杉山利行 杉井美佐子  
根本みどり 安田公美  
今原真理子 平井順子  
田口久徳 田口里香

昭和56年卒(33回)

山下勝矢 高橋かほる  
若崎千佳子  
田村隆幸 千田寛  
戸田仁 宇和野真由美  
吉岡典子 吉田新一  
山崎智与里 宝寺浩  
北川早苗

昭和57年卒(34回)

相川賢樹 中野則子  
福島久美子 吉田浩之  
山崎正一 宮下隆  
番場桂子 福川英司  
山下研二 追立真由美  
中山晴喜 田中直美

昭和58年卒(35回)

久保村康史 相田七恵  
根岸栄子 網野由子

昭和59年卒(36回)

相沢浩幸 初田千秋  
濱野広悦 中西博子  
伊藤育子 小川紀子  
三野裕之 渡邊ルミ

昭和60年卒(37回)

山中英実 玄間千秋  
吉井和子 加藤美和  
設樂信生 笠井千奈美  
青木香 大熊康典  
若松重夫 佐藤幸江  
内藤麻美 ウルソン恵蓮  
増田恵子

昭和61年卒(38回)

信田照幸 多田貴好  
長谷川友孝 大沼孝明  
佐藤洋子

昭和62年卒(39回)

島村明美 小瀬隆一  
長田由紀子  
奥山信男 島田貴子  
紅谷美奈子 紅谷弘二  
遠藤孝明

昭和63年卒(40回)

奥山信男 島田貴子  
紅谷美奈子 紅谷弘二  
遠藤孝明

平成2年卒(42回)

森切瑞恵 北原路子  
奥山真理 俵知之

平成3年卒(43回)

新井均  
大西徹 内田玲子  
橋本雅子 本間幸信  
天池麻由美 増沢智成

平成4年卒(44回)

大西徹 内田玲子  
橋本雅子 本間幸信  
天池麻由美 増沢智成

平成5年卒(45回)

澤田信義 竹内大介

平成6年卒(46回)

中村貞子 佐藤貴史  
実藤雅史 岩本和久  
澤田尚美

平成7年卒(47回)

多喜田勇一

平成8年卒(48回)

阿部悠貴  
土屋豪 松岡滋

平成9年卒(49回)

坂西野風子 加藤まみ

平成10年卒(50回)

北村智夏 片岡浩一  
匿名 松田巴

平成11年卒(51回)

半田亮子 阿部愛  
藤見歩

平成12年卒(52回)

野口渡 海老原朱里  
田中啓介 京極弘子

平成13年卒(53回)

原田尚仁 浅岡智裕  
市村里紗

平成14年卒(54回)

西川節男 有馬元明  
榎本淳

平成15年卒(55回)

榎愛郎 夏井もも子

平成16年卒(56回)

丸山光夫先生

平成17年卒(57回)

三十一会

平成18年卒(58回)

黒米敏弘 横尾幸則  
西巻慧菜

平成19年卒(59回)

三善隆弘 松田裕太郎  
森田純平

平成20年卒(60回)

並木萌子 宮代孝洋

平成21年卒(61回)

芳賀太弦

平成22年卒(62回)

大崎友理華

平成23年卒(63回)

若林碧

平成24年卒(64回)

吉岡希光

平成25年卒(65回)

塚崎聡 青山周平

平成26年卒(66回)

小泉舞里子 大原佳苗

平成27年卒(67回)

旧職員

平成28年卒(68回)

昭和40年卒 古希の集い





# あの先生は今

平成二十九年五月二十八日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信の一部を掲載いたします。誌面の都合で全ての先生方のご紹介ができないことをお詫びいたします。

～ 出欠はがきから ～

### ● 荒井 桂 (社会) 東松山市

齢半壽(八十一)を越えて一応元氣。呆け防止のため、年に一冊ずつ本を出すことにしております。初めての教え子が喜寿を迎えます。初任校は懐しいものですね。

### ● 磯貝裕子 (英語) さいたま市

西麗会会報をお届けいただき、ありがとうございます。職員として十年間お世話になりました。現在は、大宮南高校に勤務しております。

### ● 加藤 剛 (数学) 鴻巣市

浦和西から熊谷西へ異動して早六年。スプリングセミナーの魂は抜かれずに守られているかなあ、と春を迎える度に思っています。愛着のある学校です。

### ● 小林 功 (国・司) さいたま市

会報38号の旧第二高女インタビュアー、「八〇周年記念誌」でお世話になった松本登美さん(旧3回卒)と清野幸子さん(旧9回卒)の訃報に接し、心からお悔やみ申しあげます。今ごろ伊藤淑子さんと再会して思い出話に花を咲かせていることでしょう。

### ● 菅原鉄也 (国語) さいたま市

今年も岩槻北陵高校で、お世話になっています。西高の卒業生も同僚として勤務しており、たくさん元気をもらっています。

### ● 楚山大和 (英語) 上尾市

大学での十年の教職生活も終り、今は日本の政治がまともになるように社会運動に顔を出しています。暮に西高時代最後の卒業生の同窓会に招かれ、懐かしい思い出に浸ることができました。

### ● 館野俊則 (国語) 東松山市

授業を始めて五十年目。大学と専門学校で「作文」を続けています。文章を書かせると、若者の語彙・知識と生活の変化等が分かって、興味津々たるものがあります。

### ● 中村 清 (国語) さいたま市

平穏な日々を送っています。

### ● 中村正美 (英語) 川越市

仕事を続けながら、健康寿命のことを考えるようになりました。子供たちも東立ち、夫婦二人の生活になりました。職場、家庭、サークル活動と日々忙しく過ごしています。

### ● 堀口幸夫 (社会・教頭) 吉見町

昭和の末に教頭として二年。まだ旧制師範の余韻か、自習と言わず休講と呼んでいた。自由闊達な校風を求めて、どこへでも行けるのに西高に来た生徒も多かった。

### ● 三村晃子 (家庭) さいたま市

現在、越谷総合技術高校服飾デザイン科にて勤務しております。西高で培った教科指導や生徒会活動の経験は忘れられません。西高の益々の発展を祈念申し上げます。

### ● 山下照夫 (校長) 熊谷市

これやこの勿忘草か目にとまる  
情念うすき歳となりても  
春あさき休耕の田に佇める  
農夫の影の夕日に長し

### ● 吉住香織 (英語) 川口市

神田外語大学で、主に教職科目を教えしております。会報の赤山街道特集、毎日通った新任時代を思い出しました。西高生のご活躍を時折FBで拝見するのも楽しみです。

### ● 吉住登喜江 (事務) 鴻巣市

西麗会報を有難度うございます。若き日々がなつかしく思い出されます。私も今年主人に先立たれ淋しくなりました。浦和西高校の益々の御発展御祈念申し上げます。

### ● 吉住知文 (社会) 川口市

駿河台大学で、地理や教職科目を教えています。「授業とは教えることではなく、教員の頭にあるメッセージを、教材

を通して学び取らせることだ」と伝えて  
います。

### ● 米原 豊 (音楽) さいたま市

毎年、12月に、西高管弦楽部の卒業生達と、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を、三郷市文化会館大ホールで行っています。

### ● 和田幸男 (地理) 鳩山町

今年も会報を楽しみにする季節になりました。誌面がA4判化、カラー化され、内容構成も読み易くなりました。時の流れは早く、世の無常を感じる日々も多くなりました。

## 訃報

### 村田秀子先生 (体育) 江戸川区

3月28日老衰により102歳にて死去いたしました。生前中のご厚情に感謝いたします。村田耕太郎(長男)

## 埼玉県教育環境整備基金を通じた母校への寄付のお願い

埼玉県教育環境整備基金は、個人や企業の皆様からの寄付などを積み立て、県立学校の施設設備の整備を行うことを目的として、平成27年3月に設置されました。浦和西高校では、部活動の環境整備の一環として、第1・第2グラウンドの照明施設を増設するための寄付を募集しています。寄付の目標額は610万5千円です。計画の詳細は、同封のリーフレットや、浦和西高校のホームページをご覧ください。個人の寄付に対しては、税法上の優遇措置である「ふるさと納税制度」が適用され、一定額が所得税又は住民税から控

除されます(制度の適用には、所定の手続きが必要です)。寄付申込書は浦和西高校で配付しています。何卒、母校の取組にご理解をいただき、西麗会への寄付と合わせて、母校への寄付をご検討ください。

### 【おことわり】

在校生の保護者は寄付を行うことができません。また、寄付額の20%は他校の環境整備に活用されるほか、募集期間内に目標額に達しない場合には、整備計画の変更や、全額が他校の整備に充てられることがあります。



○男子サッカー部の活躍

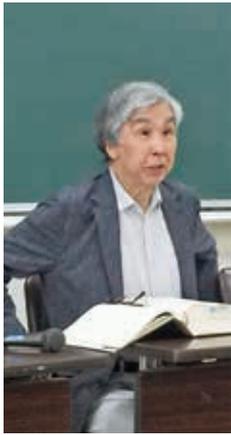
全国高校総合体育大会(インターハイ)に30年ぶりに出場。惜しくも、2回戦で敗退しました。

第96回全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県予選の決勝戦に進出。11月19日(日)埼玉スタジアムで昌平高校と対戦。浦和西は後半同点に迫いつきましたが、直後に勝ち越され惜しくも1対2で敗れ、44年ぶりの全国大会出場は果たせませんでした。



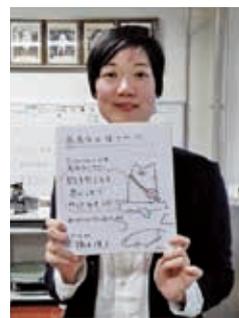
○第2回西麗会セミナーを開催

平成29年7月2日高橋千劍破氏(昭和36年卒)から「鹿島台から皇山へ」



○未来の種

と題して、古代から見沼新田開発までの浦和西周辺の歴史や埼玉大学移転の経緯、浦和西高新建設の経緯について講演があり、19名が参加しました。



本会会員で平成15年卒業のイラストレーター、漫画家の織田博子さんが2017年10月20日に1年生対象の進路講演会の「未来の種」にて「人生の土壌を豊かにする」というタイトルで講演を行いました。

苦手だったがシステムエンジニアも漫画家も数学的思考は役に立つ、英語が通じない国も多



○理事研修旅行の催行

2017年10月21日(土)西麗会の理事研修旅行が催行されました。台風接近のあいにくの天候でしたが13名の参加者で鎌倉七福神めぐりと鎌倉文学館を訪れ鎌倉文士の交流の歴史や秋バラ観賞、神社仏閣を訪ねて歩きました。(事業部)



○伊勢丹画廊で展覧会

西高在校中、美術部に所属していた瀬下梓さん、斎藤悠紀さん、高橋学説さん、藤井誠さんは、2017年7月、浦和伊勢丹画廊でグループ展「風は西から」を開催し、好評を博しました。

お世話になった先生方

平成29年度人事異動 (敬称略)

教頭	市村 元信	朝霞西高校
保健体育	井桁 努	鴻巣女子高校
数学	山浦 聡一	上尾橋高校
生物	星 直樹	上尾かの木特別支援学校
英語	磯貝 裕子	大宮南高校
保健体育	小林 学	岩槻北陵高校
英語	佐藤 悠子	大宮武蔵野高校
公民	福富 周二	越谷南高校
国語	根岸由紀子	北本高校
国語	堀川ひろみ	鳩ヶ谷高校
実習教員	吉田菜摘子	上尾高校
英語	金田 一史	所沢高校
国語	洲脇 武志	任期満了
養護	石田 浩子	大宮光陵高校
実習教員	水田 豊	三郷特別支援学校
事務長	石倉 克利	和光高校
事務室	小田部知子	北本高校
業務主事	伏見 元	任期満了
数学	安田 幸雄	任期満了
書道	鈴木 陽子	任期満了
美術	鹿内 史子	任期満了



# 同窓会だより 今日だけ高校生

## 十七回生古希の集い

田口 勝栄 (昭和40年卒)

浦和西高十七回生古希の集いが平成二十九年三月十三日ホテルラフレ十五階レガロに

おいて開催され、現役テニスプレーヤーの形山先生をお迎えし八十九名の同期生が集まりました。参加者が多かつたため二回に分けた記念写真撮影、歌詞三番まで歌った校歌斉唱。懐かしい音楽を流しながら西高時代のアルバムをスクリーンに写したときには「オーッ」と声をあげな



がら皆見入っていた。西高今昔では形山先生から当時を取り巻く社会環境の中での西高生の活動振りなど興味ある話が披露されました。

懐かしい会話もあつという間に過ぎ、元気でこの集いに参加できたことに感謝しながらお開きとなりました。なお集いの余剰金は西麗会に寄付したことを付け加えます。

## 十八回生古希の同窓会

大熊 幸雄 (昭和41年卒)

2017年

11月22日パレスホテル大宮において開催されました。全体としては、最後の同窓会とあつて、遠くは北海道、京都、松山、徳島から91名が出席。サッカーの試合を終えて駆けつけた新藤文男代表のあいさつから始まり、恒例のクラス紹介では、現役で頑張っているひと、趣味に生きる人、いい夫婦の日なのにけんかしてきた夫など、皆さん、話の種が沢山。二次会まで大幅に時間延長となりました。

サッカー部の田村雄二郎OB指導による全員



握手は長蛇の列。(写真)

合唱班の江川清部長による指揮で校歌斉唱。

三年前は日本舞踊、シャソン、カラオケありでしたが、今回は会話を中心に。二次会を含めて、飲み放題の4時間、あつという間に、お開きとなりました。さて、次回は？

## 昭和50年卒還暦記念同窓会

峯岸 由治 (昭和50年卒)

昭和50年卒還暦記念同窓会は、2017年5月14日(日)、ホテルブリランテ武蔵野で開かれました。当日は、恩師の白木恵二先生、形山素朗先生、河野卓生先生をお迎えし、143名の同窓生が集まりました。会は、鬼籍に入られた恩師、同窓生に黙とうを捧げた後、田辺春夫氏の乾杯の音頭で始まり、昔話や近況を語り合う姿が会場の





あちこちで見られました。途中、同窓生4人が「還暦の主張」を披露し、盛り上がりました。最後に、元気で再会することを誓い合ってお開きとなりました。



平成29年11月18日(土) パレスホテル大宮において、昭和51年卒(第28回)

### 第28回生還暦同窓会

石川 理恵(昭和51年卒)

同窓会が開かれました。

当日は河野卓生先生・矢嶋章司先生をお迎えし、計150名が集う盛会となりました。還暦同窓会ということで「何か赤いものを身に付けて参加しませんか」との呼びかけに、それぞれが思い思いの「赤」をまとい、とても明るく華やかな会になりました。

先生お二方の、お元気なお姿とお話には一同感激し、一人30秒の、参加者全員の近況報告には興味深く耳を傾けました。

最後は、当時流行っていたフォークソングと校歌を合唱。旧交を温めた三時間はあっという間に過ぎ、お開きとなりました。

次回の幹事を受けてくれる人も決まり、また元気で再会しましょう、と誓い合いました。

その様子がホームページにアップされていますので、ぜひご覧ください。

### 第38回生同窓会報告

相沢喜一郎(昭和61年卒)

平成30年1月7日、浦和ロイヤルパインズホテルにて第38回生(昭和61年卒業)の有志同窓会を開催しました。卒業から30余年、50歳を迎える年に悲願の学年同窓会が実現しました。当日は、135名の卒業生が参加し、あっという間の3時間。会場では、各学年



のクラスごとにテーブルを移動し、再会を喜び合いました。

今回は5年後、55歳のタイミングで開催いたします。今回は準備期間5ヶ月でしたが、5年後は全員の方にご連絡しますので、ぜひ現住所の更新をお願いします。

# 5月27日(日) 母校で会いましょう

## ～ 西麗会總會のご案内 ～

**日 時** 2018年5月27日(日)  
 10:30 總會開会  
 11:30 記念授業  
 12:40 懇親パーティー  
 14:30 閉会予定

**会 場** 西高50周年記念館

事前の申込みは不要です。誘いあってお出かけください。



▲ 昨年の総会風景



▲ 懇親パーティー

今年の総会の記念授業は国語の菅原鉄也先生

### 「『徒然草』の魅力」



菅原先生は昭和26年秋田県ご出身で高校卒業後、税務署に就職。しかし、勉強をしたい、教員になりたいと21歳で大東文化大学日本文学科に入学。卒業後昭和51年寄居高校で教員生活をスタートされました。西高では昭和62年4月から平成9年3月まで教鞭を取られました。定年退職後も岩槻北陵高校で非常勤講師として現在も古典と国語表現(作文)を教えていらっしゃいます。

西高時代の思い出としては、生徒たちは自主自立の精神に溢れていた。毎時間短編(宮沢賢治、夏目漱石等)を読んで感想文を提出させていたが読解力があつて教えていて楽しかったとお話されていました。西高生については個性を尊重できる、違いを認め合える、余裕がある生徒達だったと語ってくださいました。

現在は非常勤講師としてお勤めの傍ら、栃木県佐野市まで毎週家庭菜園に通い、低山登山、ジョギングしてマラソン大会に参加、また車で日本一周を目指して東北、北海道を既に制覇。今年は九州を目指しておられるそうです。

今回の記念授業のテーマはライフワークの『徒然草』で、登場人物の自由人に西高生に通ずるものがあるとお話しされていました。

皆さんも一日西高生に戻れる日がやってきます。5月27日(日)は母校に帰ろう!

文責 綿貫保子(昭和45年卒)

### 編集後記

西麗会会報第42号をお届けします。前号から全面カラー化に踏み切りました。誌面が鮮やかだ、読みやすいとの声をいただいております。

「私と西高」の岸信介さんは全日本合唱連盟の理事長として全国を飛び回っていて、コンタクトも難しいなか、長文の原稿を書いていただきました。

会員の皆様には「あの友この友」などの投稿を、よろしく、お願いします。(大熊)

### 広報部

- 大熊 幸雄・本間 葉子
- 堀田美枝子・小林 功
- 岩本 和久・片岡 浩一
- 植田 高史

編集・発行

## 西麗会

発行人 村上明夫  
 編集人 大熊幸雄

〒330-0042  
 埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1  
 FAX 048(830)1117  
 西麗会メールアドレス  
 info@seireikai.org  
 西麗会ホームページ  
 http://www.seireikai.org/index.html